

加熱発生ガス分析 分析方法一覧

概要

加熱発生ガスの評価には、様々な手法がある。

分析の目的、試料の材質や形状等に合わせて最適な分析方法を選択することで、試料から発生してくる種々のガス成分を定性定量することができる。

分類	手法	感度	温度範囲 (°C)	試料形状	測定例
定性定量	ヘッドスペース -GC/MS	% ppm	50~190	液固	高分子の加熱発生ガス分析 残留溶媒の分析
	TCT -GC/MS	ppm ppb	~350	気固	
	TDS-MS	ppm	~1000	固	ウェハの加熱発生ガス 高分子の加熱発生ガス
分解・定性	熱分解 -GC/MS	ppm	~800 (160~1040)	液固	高分子の組成分析
	TG -GC/MS	%	~900	固	分解成分の重量変化と定性
	TG-MS	%	~900	固	分解成分の重量変化と 温度プロファイル
	EGA-MS	ppm	~800	液固	分解成分の温度プロファイル

※検出感度は試料の状態やガスの発生状況によって変化

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎03-5524-3851